

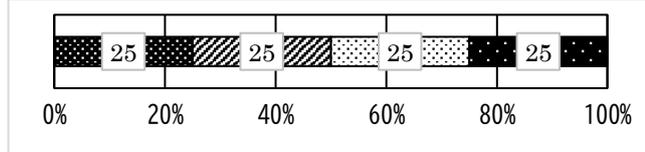
学校評価（アンケートの結果について）

学校教育に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。結果を集約しましたので、お知らせいたします。この結果を踏まえて、今後の本校教育に生かしていきたいと思っております。

グラフの見方

（数値の単位は%）

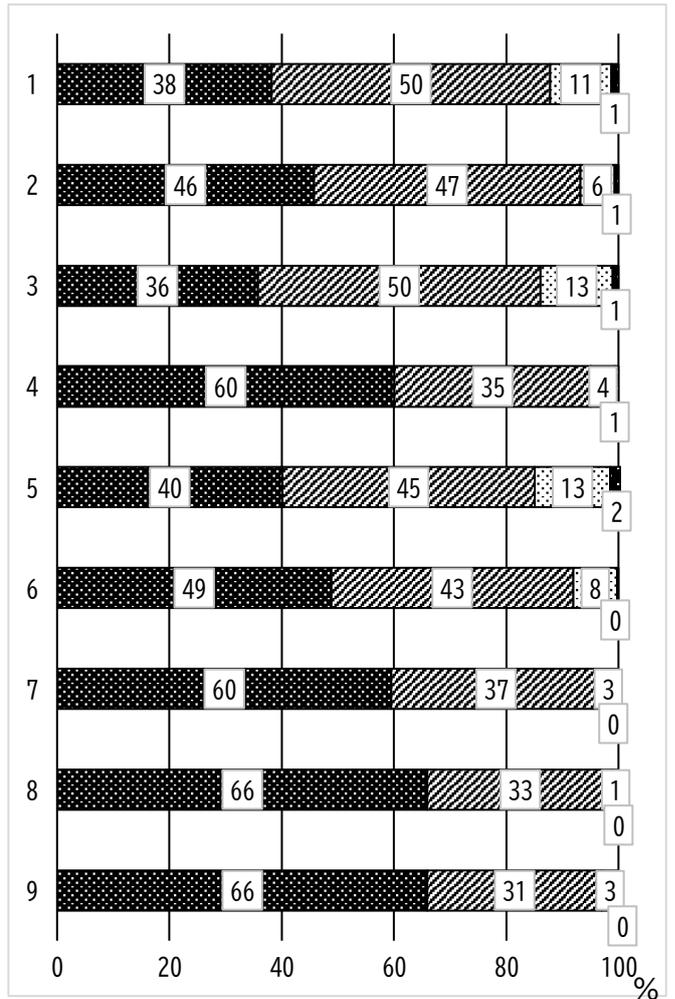
左から 保護者：思う やや思う やや思わない 思わない
子ども：はい ややはい ややいいえ いいえ

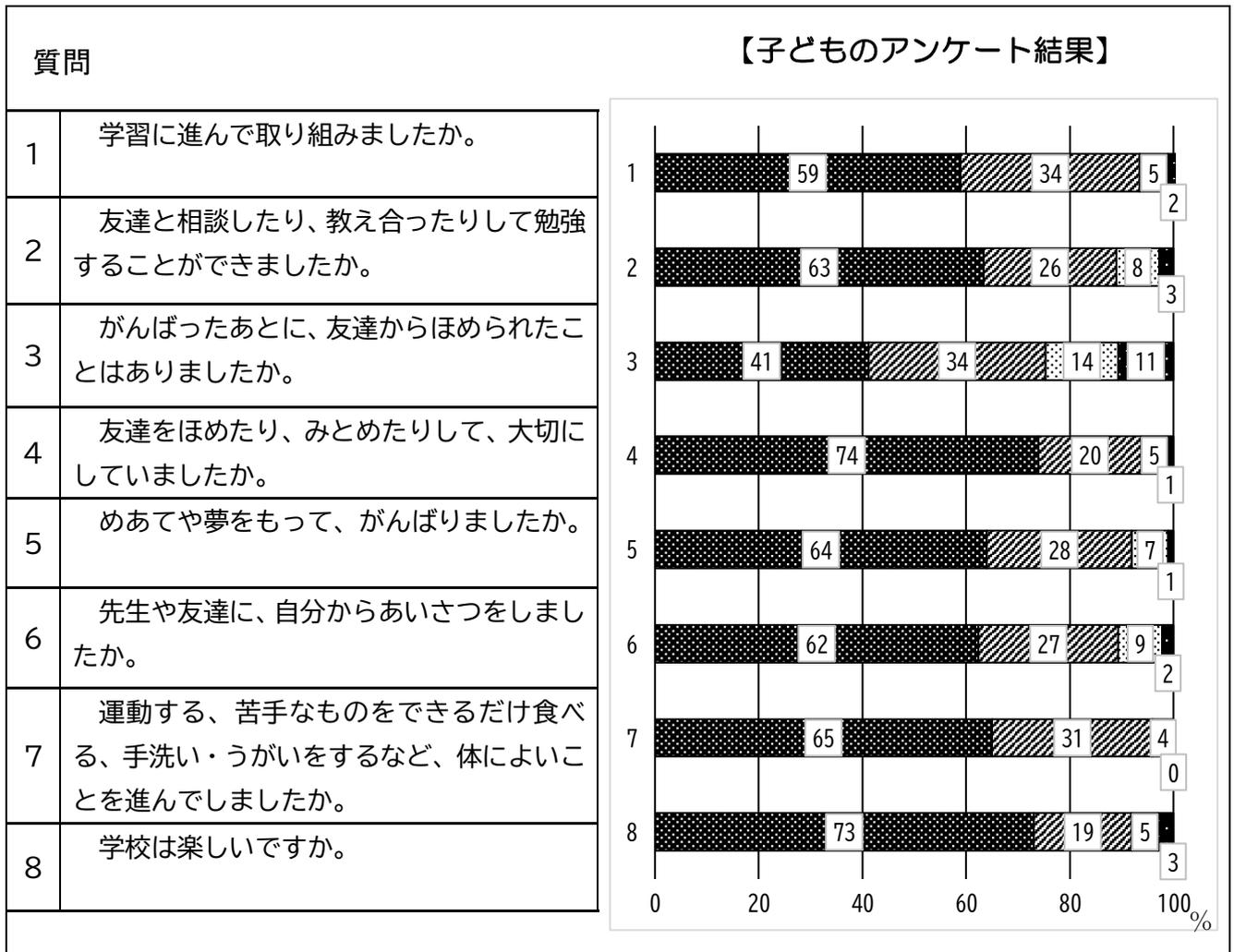


質問

【保護者のアンケート結果】

1	子どもは、「授業がよく分かる」と言っている。
2	学校努力点において、主体的に学習に取り組むみずほっ子の育成を進めた結果、子どもは、めあての達成のために試行錯誤をしながら主体的に学習する姿が見られる。
3	子どもの意欲や成果を評価することを通して、子どもは、意欲的に学習している。
4	子どもは、夢をもったり、命を大切にしたりしようとしている。
5	子どもは、進んであいさつをしている。
6	子どもは、健康増進に留意している。
7	家庭との連絡や、保護者からの相談に適切に対応している。
8	学校だより・学年だより等で、学校の様子を知らせている。
9	行事や授業参観、懇談会などに保護者が参観・参加しやすいよう工夫している。





【結果の分析】

本年度の学校の取組について、保護者、子どものアンケート結果は、おおむねよい評価をいただきました。

あいさつに関する項目や学習意欲の向上に関する質問については、まだ十分でないことが伺えます。あいさつについては、今後継続して言葉掛けを行っていきたいと考えます。また、学習意欲の向上については、今後も子どもたちの成長をしっかりと見取り、ほめたり認めたりするなど、継続していきたいと考えます。子どもの質問4からは、友達をほめたり認めたりする意識は高まっているものの、子どもの質問3のように、友達から認められているという思いにはまだつながっていないので、自分が認められたと感じることができるような取組を考えていきたいと思います。

【自由記述の内容から】

自由記述では、「主体的に学習に取り組むことが難しい」といった内容の記述が見られました。今年度、「主体的に」を意識して学校教育活動を見直してきました。今までの教師主導の授業だけではなく、授業を作る主語を教師から学習の主体である子どもへなるべく多く委ねました。子どもが自分で判断して、一人で考えたり、周りの人たちと一緒に考えたりするタイミングを選択させるなど、主体的に活動できる場面を設定することで、本来子どもが持っている「主体性」を引き出しています。

「一つの道を示し、これが正しいのだ」と子どもを引っ張るのをやめ、見守っていくことで、「自律」を促がし、「主体性」を引き出したいと考えます。